

古江台ホール入居者の方と初詣

平成24年正月5日午後わかばの会員3名は特別養護老人ホーム古江台ホールの入居者の方を介助して池田市内の八坂神社に初詣に行きました。

当日は薄曇りの寒い天気でしたが、多くの参拝者が来られていました。古江台ホールの皆さんも笑顔で車から降りて、早速、拝殿で参拝。社務所ではお神酒を頂き、おみくじを引いて今年の運勢の紙を拡げて大吉と大喜び。大切に持ち帰り、皆さんにお見せすると財布の中に入れていました。今年もお参りが出来たと感謝し、皆さんと握手。参拝後、全員が並んで写真撮影をしてホームに帰りました。



(木村良三)

名所散策の会「インスタントラーメン手作り体験」

今回は池田の街を歩く企画で、まずは世界初インスタントラーメンを発明した安藤百福さんを記念して建てられた記念館に向かいました。手作り体験工房にて本格的ラーメン作り、小麦粉をこね伸ばし味付けをして最後は作った麺を揚げていただき、袋には自分の好きな絵を描いてオリジナルラーメンが出来

上がりました。みんな童心に返り笑顔いっぱい記念館の中を見学、馴染みのラーメンの数々を感じながら



見て回りました。安藤百福さんは戦後の食料のない時代に屋台に並んでいる人を見て、みんなが手軽に食べられる食品をと、10年間研究を重ねられたそうです。そんなインスタントラーメンが宇宙食にまでなるなんて本当に驚きです。

旅籠屋というお店で昼食後、渡来した織姫が糸を染めるため水を汲んだとされる井戸の跡(染殿井)に案内してもらい説明を受けました。その後呉服(くれは)神社を訪れました。呉服神社は絹の布を呉服(ごふく)と呼ぶようになった由来のある神社で、機織り裁縫の祖神・呉服媛(くれはとりひめ)を祀っています。ナルク会員の村上さんから資料を頂き、宮司さんの丁寧なお話を聞かせていただきました。神に仕えておられる方ならではの様々なお話、本当に楽しく勉強になりました。本殿に、扉に、糸巻きの飾り物がされていて何とも可愛く感じました。

神社を後にして商店街を抜け平成19年4月29日に開館された池田市立上方落語資料展示館(愛称落語みゅーじあむ)の見学に向かいました。その年の10月1日には池田市にお住まいの桂三枝さんが名誉館長に就任され、アマチュア落語家の勉強会など様々な催しが行われています。私たちもその内の一人元警察官の落語を聞かせていただきましたがすごく面白かったです。

池田市は城址公園など城下町のイメージが強かったのですが、今回の散策で居伊太神社、星の宮、絹かけの松など織姫伝説も多い場所と改めて認識しました。次回は今回行けなかった場所を散策したいものです。

(吉田光代)